

エコアクション21

環境経営レポート



【 第3版 】

対象期間 : 令和 5 年 9 月 ~ 令和 6 年 8 月

発行日 : 令和 6 年 10 月 31 日



The challenging of company.

(株)後藤組

目次

1.	取組の対象組織・活動	・ ・ ・ ・ ・	【1～2】
2.	実施体制	・ ・ ・ ・ ・	【3】
3.	環境経営方針	・ ・ ・ ・ ・	【4】
4.	環境経営目標（年間）	・ ・ ・ ・ ・	【5】
5.	環境経営目標の実績と評価、次年度の取組み内容	・ ・ ・ ・ ・	【6】
6.	環境経営計画の取組み状況とその評価	・ ・ ・ ・ ・	【7～8】
7.	環境関連法規等の順守状況の確認及び評価	・ ・ ・ ・ ・	【9】
8.	代表者による全体の評価と見直し	・ ・ ・ ・ ・	【10】
9.	活動状況	・ ・ ・ ・ ・	【11～12】

1. 取組の対象組織・活動

組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 後藤組

代表取締役 後藤 ひとみ

(2) 所在地

本社 大分県国東市安岐町吉松 3 0 2 3 番地

(3) 環境管理責任者及び担当者（事務局）連絡先

責任者 取締役

担当者 事務員

TEL : 0978-67-3323

FAX : 0978-67-1887

(4) 事業内容

《建設業許可》

許可番号 大分県知事 許可（特-6）第8302号

土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業

石工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、塗装工事業

しゅんせつ工事業、水道施設工事業、解体工事業

許可番号 大分県知事 許可（般-6）第8302号

管工事業

《産業廃棄物収集運搬業》

許可番号 大分県 第04401048936号

許可年月日 令和 4 年 6 月 18 日

有効年月日 令和 9 年 6 月 17 日

産業廃棄物の種類

廃プラスチック類（自動車等破砕物、廃プリント配線板、廃容器包装を含まない）、木くず、ゴムくず、金属くず（自動車等破砕物、廃プリント配線板、鉛蓄電池の電極であって不要物であるもの、鉛製の管又は板であって不要物であるもの、廃容器包装を含まない）、ガラスくず等（廃石膏ボードを含み、自動車等破砕物、廃ブラウン管（側面部に限る）、廃容器包装を含まない）、がれき類（以上6種類。ただし、特別管理産業廃棄物であるものを除く。個別の品目の取扱いとは以下のとおり。含む：石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物 含まない：上記のうち水銀回収義務がある水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等）

(5) 事業規模

設立年月日	1987/11/7
資本金	4100万円

	単位	2022年8月期	2023年8月期	2024年8月期
売上高	千円	1,162,359	743,451	989,432
従業員数	人	32	35	34
事務所床面積	m ²	130.00	130.00	130.00
倉庫床面積	m ²	780.26	780.26	780.26

車両・船舶・建設機械

乗用車（事務所用）	4台	起重機船（クレーン台船）	2台
乗用車（現場用）	4台	船舶	6台
10t台車	1台	フィニッシャー	1台
4tダンプ	3台	グレーザー	1台
2tダンプ	1台	タイヤローラー	1台
バックホウ	6台	振動ローラー	3台

(6) 産業廃棄物収集運搬の品目

(自社運搬の収集運搬量)

品目	対象年月	2023年～2024年 (9月～8月)
アスファルト殻		574.98 t
コンクリート殻		979.84 t
建設混合廃棄物		10.53 t
木くず		203.05 t
廃プラスチック		1.05 t

(下請け工事で受託した収集運搬量)

品目	対象年月	2023年～2024年 (9月～8月)
アスファルト殻		408.34 t
コンクリート殻		152.99 t
木くず		167.36 t

(7) 事業年度

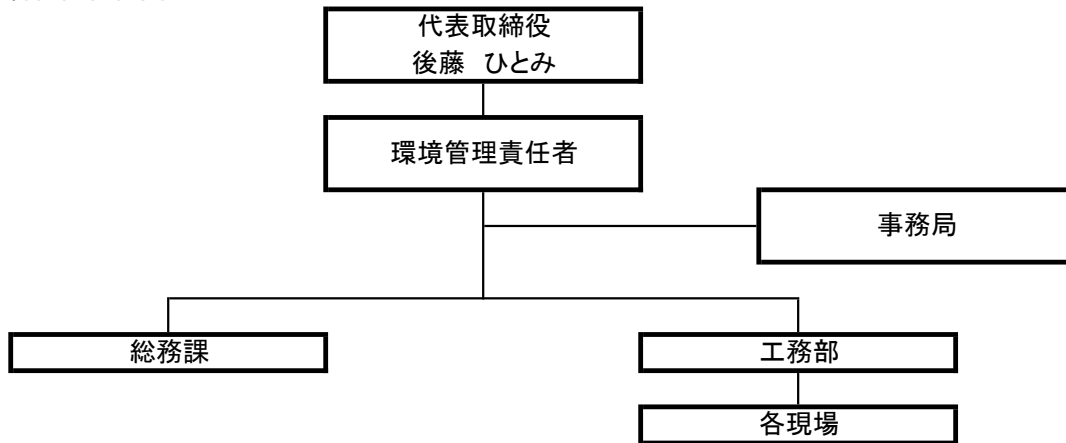
期首 9月 ～ 期末 8月

(8) 認証・登録範囲

全組織・土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、解体工事業、産業廃棄物収集運搬業を対象としています

2. 実施体制

環境経営組織図



環境経営組織図 E A 2 1 役割と責任及び権限

区分	役割・責任・権限
代表者 後藤 ひとみ	・環境経営に関する統括責任者 ・環境経営に必要な経営資源(人・物・資金)を準備する ・環境管理責任者の任命 ・環境経営方針を定める ・環境経営目標及び環境経営計画、実施体制を承認する ・代表者による全体の評価と見直しを実施する ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者 後藤 照久	・環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者 ・環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する ・エコアクション21推進委員会の責任者 ・環境関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守状況チェック結果の承認 ・環境経営目標、環境経営計画、実施体制の確認 ・環境上の緊急事態の想定及び対応策の承認 ・問題点の是正及び予防処置の承認 ・環境経営レポートの確認
事務局 後藤 那菜	・環境管理責任者の補佐、エコアクション21推進委員会の事務局 ・環境関連文書、記録の管理 ・環境経営に関する実績のとりまとめ ・外部環境コミュニケーションに関する窓口 ・環境経営レポートの作成
部門長	・自部門における環境経営の実施 ・自部門における環境経営の実施、目標達成状況を委員会に報告する ・自部門に必要な手順書などの作成、管理 ・自部門の問題点の発見及び是正、予防処置を実施する
全従業員	・環境経営方針、環境経営目標などの理解と自らの役割を自覚する ・自主的、積極的に環境経営に参加する

2. 環境経営方針

基本理念

株式会社後藤組は、土木建設業・産業廃棄物収集運搬としての事業活動において、地球温暖化や限りある資源の減少が問題となっている地球環境の現状に、事業活動を通じて環境負荷削減に努め、循環型社会を目指す企業として活動していき、環境経営の継続的に取り組んでいきます。

環境行動指針

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ① 電力・軽油・ガソリンなどの消費に伴う二酸化炭素排出量を削減する。
- ② 建設現場での廃棄物の削減・リサイクル活動を推進する。
- ③ 節水に努め、水使用量を削減します。
- ④ 環境に配慮した施工管理に取り組みます。
- ⑤ 収集運搬の効率、顧客との連携による再資源化に取り組みます。
- ⑥ 地域・社会貢献活動に積極的に取り組みます。
- ⑦ 環境関連の法令、条例を遵守します。

これらについて環境経営目標、環境経営計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. この環境経営方針は、全社員に周知するとともに社内外に公表します。

制定日： 2022年6月1日

株式会社 後藤組

代表取締役 後藤 ひとみ

4. 環境経営目標（2022～2024年度）

環境経営目標	単位	基準年 2020年度	年度目標		
			2022年度 (1%削減)	2023年度 (2%削減)	2024年度 (3%削減)
		2020年9月～ 2021年8月	2022年9月～ 2023年8月	2023年9月～ 2024年8月	2024年9月～ 2025年8月
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg - CO ₂	349,220.49	345,728.29	342,236.08	338,743.88
(1) 電気使用量削減	kWh	57,163.48	56,591.85	56,020.21	55,448.58
本社	kWh	17,424.14	17,249.90	17,075.66	16,901.42
現場	kWh	39,739.34	39,341.95	38,944.55	38,547.16
(2) ガソリン使用量削減	ℓ	19,384.84	19,190.99	18,997.14	18,803.29
本社	ℓ	7,338.20	7,264.82	7,191.44	7,118.05
現場	ℓ	12,046.64	11,926.17	11,805.71	11,685.24
(2) 軽油使用量削減	ℓ	107,312.54	106,239.41	105,166.29	104,093.16
現場	ℓ	107,312.54	106,239.41	105,166.29	104,093.16
2. 廃棄物排出量の削減	t	2,509.66	2,484.56	2,459.47	2,434.37
一般廃棄物排出量の削減		分別の徹底	分別の徹底	分別の徹底	分別の徹底
産業廃棄物排出量の削減	t	2,509.66	2,484.56	2,459.47	2,434.37
3. 水使用量の節約	m ³	節水の徹底	節水の徹底	節水の徹底	節水の徹底
4. 環境に配慮した施工管理			環境経営計画による実行 管理	環境経営計画による実行 管理	環境経営計画による実行 管理
5. 収集運搬の効率管理、顧客との連携による再資源化促進			環境経営計画による実行 管理	環境経営計画による実行 管理	環境経営計画による実行 管理
6. 地域貢献活動の推進			年2回以上	年2回以上	年2回以上

備考

1. 購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.479kg-CO₂/kWh（九州電力 2020年度・調整後）を使用した。

5.環境目標の実績と評価、次年度の取組み内容

対象期間：2023年9月～2024年8月

評価基準：◎120%以上 ○100%以上 △80%以上100%未満 ×80%未満

	選択課題	基準年度 2020年度	2022度 目標	2022度 実績	2023度 目標	2023度 実績	目標 達成率	評価
1	二酸化炭素排出量 (CO2排出量) kg-CO2	349,220.49	345,728.29	346,548.16	342,236.08	335,829.06	101.91%	○
評価と 次年度 の取組 内容	①目標未達成 ②電力消費は達成したがガソリンと軽油の使用料が増加した為 ③ガソリン使用料を削減する為にエコドライブを周知していく。							
1-1	電力消費量（電気使用量） kg-CO2	56,591.85	56,591.85	30,061.96	56,020.21	28,440.63	196.97%	◎
評価と 次年度 の取組 内容	①目標達成 ②工務では、外出時パソコン電源を切る及び消灯する為と現場が遠方になり事務所の滞在が減少した為 ③外出時パソコン電源を切る・消灯するを継続する。							
1-2	ガソリン消費量（ガソリン使用量） kg-CO2	19,384.84	19,190.99	22,269.36	18,997.14	52,126.90	36.44%	×
評価と 次年度 の取組 内容	①目標未達成 ②土木、海洋土木共に現場が遠方になりガソリンの使用料が増加した為 ③ガソリン使用料を削減する為にエコドライブを周知していく。							
1-3	軽油消費量（軽油使用量） kg-CO2	107,312.54	106,239.41	108,714.56	105,166.29	255,261.54	41.20%	×
評価と 次年度 の取組 内容	①目標未達成 ②土木、海洋土木共に現場が遠方になり軽油の使用料が増加した為 ③排ガス規制重視の建設機械を使用していく。							
2-1	一般廃棄物排出量	分別の徹底	分別の徹底	分別の徹底	分別の徹底	分別の徹底	100.00%	○
評価と 次年度 の取組 内容	①目標達成 ②分別の徹底実施を致しました。 ③今後も分別の徹底を図ります。							
2-2	産業廃棄物排出量（廃棄物排出量） t	2,509.66	2,484.56	3,157.40	2,459.47	1,769.45	140.41%	◎
評価と 次年度 の取組 内容	①目標未達成 ②再資源化を図ります。							
3	水使用量（水使用量）	節水の徹底	節水の徹底	節水実施した	節水の徹底	節水実施した	100%	○
評価と 次年度 の取組 内容	①目標達成 ②節水の実施を致しました。 ③今後も節水の徹底を図ります。							
4	環境に配慮した工事の実施		環境経営計画 による実行管 理	実施した	環境経営計画 による実行管 理	実施した	100%	○
評価と 次年度 の取組 内容	①目標達成 ②設計図書に従い環境に配慮した施工を実施 ③今後も設計図書に従い実施を図ります。							
5	収集運搬の効率管理収集運搬の効率管理、顧客 との連携による再資源化促進		環境経営計画 による実行計 画	実施した	環境経営計画 による実行計 画	実施した	100%	○
評価と 次年度 の取組 内容	①目標達成 ②運搬経路等の改善を図り顧客との再資源化を図りました。 ③今後も顧客との再資源化を図ります。							
6	社会貢献への参加		年2回以上	実施した	年2回以上	実施した	100%	○
評価と 次年度 の取組 内容	第22回九州瀬戸内高等学校女子駅伝競走大会(草刈りボランティア) R5.9.18 第10回グランドゴルフ大会開催(後藤組杯) R6.6.3 国東市立旭日小学校伐採ボランティア R5.11.8							

※目標達成率：目標値／実績値

環境経営計画

環境目標			活動項目	頻度
1	二酸化炭素排出量の削減	1. 電気使用量の削減	節電の表示を行う	毎日
			空調フィルターの定期的清掃	月/1回
			使用時以外のトイレ、会議室等の消灯	毎日
		2. ガソリン使用量の削減	タイヤ空気圧など定期点検	毎日
			法定速度の遵守	毎日
			エコドライブの推進	毎日
		3. 軽油使用量の削減	タイヤ空気圧など定期点検	毎日
			法定速度の遵守	毎日
			エコドライブの推進	毎日
2	廃棄物排出量	一般廃棄物排出量の削減	裏紙使用	毎日
			分別収集の徹底	毎日
		産業廃棄物排出量の削減	リサイクル・再資源化の促進。	毎日
			マニフェスト伝票の適切な管理。(発行・管理・整理)	毎日
3	水使用量の削減	水使用量の削減	節水呼びかけ	毎日
			洗い物をまとめてする	毎日
4	施工管理による環境配慮	環境に配慮した施工管理の実施	省エネ型重機、機器の選択	使用時
			資材、機材の効率配送	使用時
			作業手順の確認と計画的実施	毎日
			周辺環境の保全、生物多様性への配慮	毎日
			関係者、周辺住民との良好なコミュニケーション	毎日
5	収集運搬業務に関する環境配慮	収集運搬の効率管理、顧客との連携による再資源化促進	効率配車とルートを選択	使用時
			排出事業者とのコミュニケーション	—
			分別管理の指導と協力依頼	毎日
			産廃保管、マニフェスト管理などの確認	毎日
			中間処理、処分業者との連携促進	毎日
6	地域貢献活動の実施	地域社会への貢献	構内及び周辺の清掃	毎日
			草刈りなどのボランティア活動への参加	年2回
			地域の行事への参加、支援	年2回

環境経営計画・実施状況

※ ○・・・できた △・・・まあまあ ×・・・出来なかった

環境目標			活動項目	評価	
				頻度	会社全体
1	二酸化炭素排出量の削減	1. 電気使用量の削減	節電の表示を行う	毎日	○
			空調フィルターの定期的清掃	月/1回	△
			使用時以外のトイレ、会議室等の消灯	毎日	○
		2. ガソリン使用量の削減	タイヤ空気圧など定期点検	毎日	○
			法定速度の遵守	毎日	○
			エコドライブの推進	毎日	○
		3. 軽油使用量の削減	タイヤ空気圧など定期点検	毎日	○
			法定速度の遵守	毎日	○
			エコドライブの推進	毎日	○
2	廃棄物排出量	一般廃棄物排出量の削減	裏紙使用	毎日	○
			分別収集の徹底	毎日	○
		産業廃棄物排出量の削減	リサイクル・再資源化の促進。	毎日	○
			マニフェスト伝票の適切な管理。(発行・管理・整理)	毎日	○
3	水使用量の削減	水使用量の削減	節水呼びかけ	毎日	○
			洗い物をまとめてする	毎日	○
4	施工管理による環境配慮	環境に配慮した施工管理の実施	省エネ型重機、機器の選択	使用時	○
			資材、機材の効率配送	使用時	○
			作業手順の確認と計画的実施	毎日	○
			周辺環境の保全、生物多様性への配慮	毎日	○
			関係者、周辺住民との良好なコミュニケーション	毎日	○
5	収集運搬実務に関する環境配慮	収集運搬の効率管理、顧客との連携による再資源化促進	効率配車とルートを選択	使用時	○
			排出事業者とのコミュニケーション	—	—
			分別管理の指導と協力依頼	毎日	○
			産廃保管、マニフェスト管理などの確認	毎日	○
			中間処理、処分業者との連携促進	毎日	○
6	地域貢献活動の実施	地域社会への貢献	構内及び周辺の清掃	毎日	○
			草刈りなどのボランティア活動への参加	年2回	○
			地域の行事への参加、支援	年2回	○

7. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価

遵守評価日

2024/8/31

法規制等の名称	該当する要求事項 (対応すべき事項)	該当する設備・項目	点検・測定頻度、 実施時期	担当部署	遵守評価	
					証拠	判定
廃棄物の処理 及び清 掃に関する法 律	・産業廃棄物収集運搬業許可証			総務課	産業廃棄物 収集運搬業 許可書 R4.6.18	○
	・産業廃棄物の委託契約	産業廃棄物(廃プラ 類、木くず、ゴムくず、 金属くず、ガラス・コン クリ・陶磁器類、がれ き類)	工事毎	総務・工務	契約書 産業廃棄物 収集運搬業 許可書 R4.6.18	○
	・マニフェスト交付 B2・D票90日、E票180日以内に 送付されない場合は30日以内の 知事への報告 A、B2、D、E票の保管(5年間)		・マニフェスト新規交付 時又は月末	工務	知事へは業 者が報告	○
	・産業廃棄物管理票交付等状況 報告書の提出		・6月末まで	工務	報告書	○
建設リサイク ル法	・対象建設工事の届け出	建設業:土砂、コン クリート塊、アスファ ルト・コンクリート塊 のリサイクル が求められている	工事毎	工務	建設副産物 交換シ ステムでの 確認	○
	・再資源化完了報告		工事毎	工務	建設副産物 交換シ ステムでの 確認	○
騒音規制法	・特定建設作業の届け出	特記仕様書、施工 計画書で確認	施工計画書で確認	工務	施工計画書・ ステッカー 確 認	○
振動規制法	・特定建設作業の届け出	特記仕様書、施工 計画書で確認	施工計画書で確認	工務	施工計画書・ ステッカー 確 認	○
道路交通法	・道路使用許可の申請	特記仕様書、施工 計画書で確認	施工計画書で確認	工務	届出書	○

- ・遵守状況を確認した結果、環境関連法規は遵守されていました。
- ・外部からの苦情・訴訟等はありませんでした。
- ・関連機関からの指導や指摘はありませんでした。

代表者による全体評価と見直し結果

評価対象の期間	令和5年9月1日～令和6年8月31日		
見直し実施日時	令和6年10月31日(木)	16時～17時	場所 本社
出席者	代表者:後藤 ひとみ 環境管理責任者 : 1名 事務局 : 1名		

環境情報	環境管理責任者の所見	代表者のコメント
1 環境関連法規等の遵守状況確認結果	法令違反・苦情無	維持継続
2 環境経営目標の達成状況	引き続き意識付けの強化	工事等で稼働状況が左右される為、日々の取組を継続して行なうこと
3 環境経営計画の実施状況	引き続き徹底していく。	引き続き徹底していく。
4 問題点の是正、予防の状況	定期的に協議し、対処していく。	維持継続
5 外部からの苦情の有無及び対応結果	外部から苦情無	維持継続
6 環境上の緊急事態の訓練結果及び対応結果	連絡網問題なし	維持継続
7 その他	特になし	特になし

代表者の見直しの指示内容判断と	①環境経営方針	継続する。
	②環境経営目標	継続する。
	③環境経営計画	継続する。
	④実施体制	継続する。
	その他、環境経営システムの円滑な運用を維持するために必要な、見直し、留意ポイントの指示	特になし

9.活動状況

【第22回九州瀬戸内高等学校女子駅伝競走大会草刈りボランティア】

令和5年9月18日（4名参加）



国東市立旭日小学校伐採ボランティア

令和5年11月8日

作業前



作業中



作業中



完了



【第10回グランドゴルフ大会】

令和6年6月3日



【分別・節水・節電の注意喚起】

